

会 長：長友芳郎 幹 事：川上 勉
事務所：〒301-0824 茨城県龍ヶ崎市下町 2842

連絡先：TEL 0297-64-3956 FAX 0297-64-3978 <http://rcrc.web5.jp>
例会場：〒301-0857 茨城県龍ヶ崎市泉町 1592-77 ザ・ゴルフクラブ龍ヶ崎

本日のプログラム

【通常例会 09.09】
会員卓話③
(幹事の職務)
クラブ管理運営委員会



次回のプログラム

【移動例会 09.18】
茨城県内美化PJT
(たつのこ山)
クラブ奉仕PJT委員会

第 1141 例会報告 (2022.09.02)

点 鐘	会長 長友芳郎
国歌斉唱・R ソング	君が代 奉仕の理想
本日のプログラム	米山奨学制度について
ゲスト・ビジター	なし
基本的教育と識字率向上月間・ロータリーの友月間	

会長報告

長友芳郎 会長



□ 来年 1 月でロータリーの友が創刊 70 周年を迎えます。日本のロータリーは 1920 年に東京ロータリークラブが創設されました。第二次大戦によって 1940 年に国際ロータリーから脱退します。戦後 1949 年に復帰加盟します。1952 年度から 53 年度に日本は 2

つの地区に分割されることになりました。分割後の地区の連絡を密にするためにロータリーの友の創刊が企画されました。

1953 年の 1 月に友が創刊されました。53 年 8 月号ではロータリー財団小学生としてアメリカに留学した緒方貞子さんの記事が載っています。(ロータリーの友より)

皆さんの生まれた年のロータリーの友を見ても面白いかもかもしれません。

幹事報告

川上 勉 幹事



◇ 9 月 18 日環境保全活動について：「環境保全フォトコンテスト」に是非ご参加ください。Enjoy life ～人生をたのしむ～

◇ 2023.05.27-31.RI 国際大会がオーストラリア・メルボルンで開催されます。奮ってご参加ください。

◇ 青森・山形大雨災害支援金について：8月3日からの大雨により河川の氾濫による冠水被害や土砂崩れによる甚大な被害が生じた 2830 地区(青森県内)から災害支援要求が来ております。

また、同じく大雨による災害で 2800 地区(山形県)からも支援要請がきております。地区の対応として、会員 1 人当たり 2,000 円(2 地区支援のため 9 月 1 日現在)のご支援をお願いすることと致しました。



◇ 長期交換派遣(2023 年 8 月出発) 学生の募集の期限延長について：現時点で応募予定者が少ないため、募集期限を 9 月 30 日(金)まで延長させていただきます。

◇ 9 月は基本的教育と識字率月間並びにロータリーの友月間です。

◇ ロータリー文庫から「2021 年決算報告・2022 年予算書」をお預かりいたしました。

◇ 9 月のロータリーレートは ¥139=\$1.00 です。

◇ グロータリー東日本大震災青少年支援連絡協議会より、風の便り Vol.8 No.1 が送られて来ました。

出席状況

会 員	8 名	出席率	100.00%
出席者	8 名		
出席免除	0 名	Make-up	0 名
定款第10条(第6-7節除く)			

ニコニコボックス

目標額	(本年度)	400,000 円	
実績額	本日/累計	13,000円	99,000円

MESSAGE

長友会員	ロータリーの友が70周年を迎えます。
川上会員	上着忘れしました。
石崎会員	今日は全員出席バンザイ!
伊藤会員	涼なくなってきましたが、コロナは恐いですね。
荒木会員	例会を楽しみましょう。いつものように。
海老原会員	9月2日は何の日。くずもちの日。
松山会員	すっかり秋めいてきました
横山会員	ゴルフシーズンとなりました。

《 例会の欠席は、水曜日 AM 10:00 までに川上幹事 TEL 090-3497-0383 に連絡して下さい。 》

本日のプログラム

米山奨学制度について ～米山奨学金～



松山美法会員

◇前年度までクラブ会長をしたのにも関わらず、自分としては「ロータリー」の話をした記憶がありません。よって、心機一転本日は「ロータリー米山記念奨学会」についてお話しをしたいと思います。

1952年12月：日本で最初のロータリークラブを創立した米山梅吉氏の功績を記念して、東京ロータリークラブが米山奨学制度を設立されました

1954年09月：奨学生第1号ソムチャード(タイ)さん来日

1957年09月：国内全クラブの合同事業として「ロータリー米山記念奨学委員会」が結成され、全国組織となる。その後、“月に煙草一箱を節約して”の合言葉によって、会員1人あたり月額50円の寄付金を募る運動がスタート

1959年02月：世話クラブ制度を設置

1960年01月：「ロータリー米山記念奨学会」と名称変更

1967年07月：財団法人ロータリー米山記念奨学会が設立される 年間の奨学生数：6カ国 59人

1971年02月：カウンセラー制度を設置

2022年07月：2022学年度 奨学生 898人

累計奨学生 129カ国、22,875人 現在に至る

米山記念奨学会とは：

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会は、勉学・研究のために日本に在留している私費外国人留学生に対し、日本全国のロータリアンからの寄付金を財源に奨学金を支給し支援する、民間の奨学財団です

様々な職業、世代で構成されるロータリークラブでの交流は、奨学生が日本文化に接し、将来や奉仕について考える機会となります。米山奨学生とロータリアンの交流は、相互理解のみならず、双方にとって財産となるものです。

目的：

ロータリー米山記念奨学会は、将来母国と日本との懸け橋となって国際社会で活躍する優秀な留学生を奨学することを目的としています。優秀とは「(1)学業」に対する熱意や優秀性はもちろんのこと、「(2)異文化理解(3)コミュニケーション能力」への意欲や能力に優れている点が含まれます。

学業：学問に対する研究の目的・目標を明確にし、研鑽(けんさん)を重ねてその成果をあげる努力をする。

ロータリー米山奨学生は、ロータリークラブを通して日本の文化、習慣などに触れ、社会参加と社会貢献の意識を育て、将来ロータリーの理想とする国際平和の創造と維持に貢献する人となることが期待されます。

異文化理解：異なる言語・文化・習慣などを理解する努力をする。

コミュニケーション能力：人間関係における円滑なコミュニ

ケーションを築き、自己の確立と共に他者を受入れる柔軟な姿勢をもつ。

民間最大の奨学事業：

年間の奨学生採用数は約900人、事業費は約14億4700万円(2020-21年度決算)と、国内では民間最大の国際奨学事業となっています。これまでに支援してきた奨学生数は、累計で22,875人(2022年7月現在)。その出身国は、世界129の国と地域に及びます。

特色：

米山奨学金には、奨学金による経済的な支援だけでなく、ロータリークラブ独自の世話クラブと**カウンセラー制度**による心の通った支援があります。

世話クラブ：日本には約2,200のロータリークラブがあります。そのうち1つのクラブが、1人の奨学生の「世話クラブ」となります。米山奨学生は世話クラブの例会に月に一回以上出席し、ロータリー会員と積極的に交流して国際交流・相互理解を深めるとともに、ロータリーの奉仕の心を学びます。

カウンセラー：奨学生1人に対し、世話クラブのロータリアンの中から1人がカウンセラーとなります。カウンセラーは、奨学生の個人的ケアにあたるアドバイザーです。

シンボルマーク：重なり合うハートは「ロータリアン」と「奨学生」です。

外国人留学生の支援・交流を通じて国を超えた信頼関係を築き、世界の平和を願う“心”を育てるという、事業創設の願いが込められています。

手は、そうした“心”を生み出すと

同時に、当事業がロータリアンの手で支えられていることを示しています。

学部課程ロータリー米山記念奨学金(YU)

月額10万円：対象学年 指定校の学部3、4年および医・歯・獣医学部5、6年を対象とする

期間 課程修了までの最長2年間。

修士課程ロータリー米山記念奨学金(YM)

月額14万円：対象学年 指定校となっている大学院修士課程1、2年を対象とする

期間 課程修了までの最長2年間。

博士課程ロータリー米山記念奨学金(YD)

月額14万円：対象学年 指定校となっている大学院博士課程2、3年および医・歯・獣医学系博士課程3、4年を対象とする

期間 課程修了までの最長2年間。

地区奨励ロータリー米山記念奨学金

大学大学院以外の高等教育機関を対象とするプログラム 高等専門学校専攻科、専修学校高度専門士課程：月額10万円 上記以外の指定校在籍者：月額7万円

対象 大学・大学院以外の指定校(高等教育機関、留学生研修機関)に在籍する者

